

兵庫県立豊岡聴覚特別支援学校

令和5年度

学校通信 第2号

令和5年12月21日発行



とよろうつうしん



よい年末年始を

校長 足立 昭吾

気が付けば早いもので、師走を迎え令和5年も残りわずかとなりました。「普段落ち着いている人でも、この月は多忙で走り回るようになる」という意味のとおり、慌ただしさが増す時期ですが、新年を迎える期待が膨らむ月でもあります。

さて、2学期も終業式後に通知表をお渡しします。通知表は、子どもを伸ばすための資料です。お子さんの学校での頑張りをお知らせするための資料です。結果だけを見て、「よかった」「悪かった」ではなく、子どもの頑張りや伸びを是非認めてほしいと思います。大人もそうですが、ほんの小さなことや些細なことでも、認めてもらったりねぎらってもらったりすると、自信や次への意欲となります。2学期の通知表が次につながるものとなるようよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今年も保護者・地域の皆様には、多くのご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。師走を迎え、ますます寒い季節になります。体調にご留意され、穏やかな年末年始を迎えられることを祈念いたします。

よろしく願いたします

教頭 大上 高広

前任の出石特別支援学校みかた校教頭から11月1日付けで本校教頭に着任した大上です。保護者・地域の皆様にご挨拶を申し上げる機会がないまま2学期終業式の日を迎えることになってしまい、大変失礼を致しました。子ども達との出会い、それは教師にとって最も緊張する瞬間です。11月2日に音楽室で臨時集会を行った時の胸のドキドキは、今でもはっきりと覚えています。一方で、温かい雰囲気の中で迎えてもらった嬉しさでホッとしたことも忘れられません。初めて経験する学校行事・学部行事で戸惑うことも多いですが、受け入れていただいたことへの感謝の気持ちを持ちながら、自分なりに精一杯取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

中学部

今年度の中学部は1年生4名、2年生4名、計8名の学部です。『COLORFUL (カラフル)』を学部テーマに多くの体験を取り入れて学習しています。自然体験活動では、城崎マリワールドに行き、イルカやオットセイなど、たくさんの海の生き物を見たり、但馬長寿の郷で宿泊体験をしたりしました。初日は海の生き物やアジ釣りなどの体験ができ、とても楽しい様子が見られました。残念ながら翌日は警報のため、急遽帰校することになりましたが、事故渋滞につかまっても、友だち同士でクイズを出したり励まし合ったりしながら、バスの中で落ち着いて活動することができました。運動会やニコニコデイでは、それぞれの得意なことや好きなことを発揮できるような内容にすることで、自分から体を動かしたり、楽器を力強く演奏したりすることができました。中学部は、思春期で心と体が大きく変化し様々な面も見られますが、成長の過程と捉えて、支え合いながら、これからも一歩ずつ歩いていきたいと思っています。



※ 裏面へ



聴能部



今年度、聴能部（3名）は、主に以下のような仕事をしています。



- 聴覚管理・・・聴力測定やことばの聞き取りの評価を行っています。
補聴器や人工内耳、補聴援助システムなどに関する相談に対応しています。
病院、補聴機器メーカーや販売店と連携しています。
- 聴能教育・・・自立活動などで聴覚学習を行っています。
きこえや補聴機器、福祉制度等、情報を提供したり、きこえの環境を整えたりします。
- 聴能研修・・・きこえや補聴機器についての研修を校内・校外で進めています。
- 外部聴能支援・・・豊岡聴覚支援センターと協働し、地域の子どもたちからのきこえや補聴機器に関する相談を受けています。

聴覚支援学校（聾学校）では、「聴能は黒子」と言われます。役割が見えにくいですが医師や言語聴覚士、認定補聴器技能者や近畿全域の聴覚支援学校聴能担当者なども幅広く連携しながら、子どもたちのよりよい聞こえをサポートしています。

聞こえについて困ったことや相談したいことがあれば、
いつでも気軽に声をかけてくださいね♪



保健室より



5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されましたが、新型コロナウイルスをはじめ、インフルエンザ、感染性胃腸炎、咽頭結膜熱など、感染症の流行は続いています。昨年度に引き続き、今年度も、保護者の皆さまには健康観察をはじめ、生活面や心理面など、様々な場面でご配慮・ご協力をいただき、本当にありがとうございます。保健室では、今年度も感染症に留意しながら、子どもたちの「こころ」と「からだ」を支える場として、サポートしていきたいと思っています。

4月から6月にかけては、健康診断がありました。学校医さんが行う健康診断（内科検診・耳鼻科検診・眼科検診・歯科検診）は少しドキドキしますが、「大きな声であいさつができたね。」「上手に検診が受けられたね。」「きれいに歯がみがけているね。」とたくさん褒めていただきました。その他にも、去年は待つことが難しかったけど、今年は順番を待って健診を受けることができた、学校医さんに診てもらうことが怖くて難しかったけど、今年は口を開けて診てもらうことができた、など、学年が1つ上がるごとに、できることも増え、子どもたちの頑張りや成長を感じる場面もたくさんありました。

健康診断以降も、6月には感染症予防・怪我の応急処置、7月～9月は熱中症予防、10月は体の名前、11月～12月は感染症予防・食育、と、朝会で動画を視聴したり、昇降口横の掲示物に触れたり、自身の健康や身体について楽しく学べる機会を設けています。

今後も、「こころ」と「からだ」に関することや心配に思われていること等ございましたら、いつでもお声掛けください。

